

# 地域密着型金融の取組みについて

(平成 20 年 4 月から 21 年 3 月)

新井信用金庫

## ■地域密着型金融の取組みについて（平成 20 年 4 月～21 年 3 月）

平成 20 年度の地域密着型金融の取組みにおいては、「1. ライフサイクルに応じた取引企業の支援強化」「2. 中小企業に適した資金供給手法の徹底」「3. 持続可能な地域経済への貢献」等の推進に積極的に取組んでまいりました。

### 具体的な取組み内容

#### 1. ライフサイクルに応じた取引企業の支援強化

##### ・経営改善支援

地域の発展は、地域の中小企業が健全に存続していくことが重要であり、地域金融機関としてそのサポートは使命と認識しております。

企業の経営改善支援にあたっては、財務諸表による表面的な計数のみで判断することなく、勘定科目の中味、経営者の考え、業況等、取引先の実態を把握し、経営上の問題点を洗い出し、将来に亘り継続安定したキャッシュフローが確保できるよう取引先経営者と一体となり、経営改善に取り組んでおります。

平成 20 年度は、重点支援対象先 48 先を選定し、P. D. C. A サイクルにより経営改善を行った結果、8 先（要注意先から通常先）のランクアップが図られました。

今後も深度ある実態把握に努め、フォローの継続ときめ細かい指導や、条件緩和等、柔軟な姿勢でサポートに取り組んでまいります。

#### 2. 中小企業に適した資金供給手法の徹底

##### ・中小規模事業者の資金ニーズに対するきめ細かな対応

原油、原材料の高騰、20 年秋以降の景気の減速により急速に景気が悪化しました。

地域の中小企業の資金ニーズが高まる中、円滑な資金供給が求められております。

財務諸表による赤字等、表面的な計数による与信判断ではなく、代表者等との一体性など、企業の経営実態や特性を踏まえたきめ細かな与信判断をもって支援しております。

緊急保証制度の活用では、新潟県セーフティネット、長野県中小企業振興資金、上越市経営改善支援資金、糸魚川市景気対策特別資金、プロパー資金等にて、その他小口零細企業保証制度資金、アローズ、スクラム、季節資金等、企業への積極的且きめ細かな対応により、円滑な資金供給が図られたと評価しております。

地域経済は厳しい状況が続いており、今後再度の資金ニーズが見込まれることが予想されますが、柔軟に対応していく方針であります。

##### ・目利き機能の発揮に向けた取組み

企業の将来性や技術力を的確に評価できる能力、いわゆる「目利き力」の養成、創業・新事業の将来性を見極めや、コンサルティングのできる人材の育成を図るため、社）全国信用金庫協会や、社）関東信用金庫協会が開講する「目利き養成講座」「融資審査講座」「企業再生支援講座」「融資法務講座」「融資審査・管理講座」等、外部

研修に積極的に参加しております。

又、市、町、商工会議所、商工会、中小企業支援センター等への訪問による情報交換と連携、外部研修への参加効果により企業の持つ技術力、特色、将来性等を見極める能力の向上が図られており、新事業の創出等の融資に繋がっております。

今後も新分野への進出等への支援に力を入れて取り組んでまいります。

### 3. 持続可能な地域社会経済への貢献

- ・取引先に対する情報の提供、経営相談、ビジネスマッチング

中小企業に対する情報の提供、経営相談、ビジネスマッチングのために「新井しんきんビジネスクラブ」「若手経営者新信会」を組織しており、継続した情報提供、ビジネスマッチング等の支援を行っております。

第22回東京ビジネスサミットでは、昨年に引き続き「はばたけ新潟・トキめき新潟ゾーン」を開設し、地元企業5社が出展し商談会を行い、赤倉温泉のPRも行いました。

- ・環境保全支援

環境問題への取組みが叫ばれている中、創立60周年記念事業として、環境問題への関心を持って頂くことのPRと、CO<sub>2</sub>排出削減チャレンジをして頂くことを目的に「エコ定期預金」「エコ定期積金」を発売いたしました。

環境問題への関心を持って頂くこと、CO<sub>2</sub>排出削減の努めて頂くことのPR効果がありました。

又、妙高市、上越市、糸魚川市、長野県信濃町にそれぞれ植樹による緑化事業を支援いたしました。

- ・高齢者、障害者福祉活動支援

高齢者、障害者福祉支援として、地方公共団体及び公益法人に、ケアマネジメント車両、障害者相談員支援車両を計3台と、障害者施設に大型テレビを寄贈いたしました。

- ・商店街活性化支援

商店街活性化及び地域経済活動の支援として、商工会議所、商工会で実施している「プレミアム商品券」の発売に協力金を支援しました。